



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス

コード番号 4732 URL <https://www.ussnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	64,408	8.0	31,833	4.5	32,373	4.2	21,871	△1.6
2022年3月期第3四半期	59,623	10.5	30,462	18.3	31,080	17.9	22,218	25.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 22,058百万円 (△5.8%) 2022年3月期第3四半期 23,407百万円 (29.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	89.42	89.26
2022年3月期第3四半期	89.21	89.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	213,545	185,710	85.6
2022年3月期	229,354	182,473	78.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 182,844百万円 2022年3月期 179,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	29.20	-	37.00	66.20
2023年3月期	-	33.70	-		
2023年3月期（予想）				33.80	67.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,529	5.0	43,460	4.5	44,176	4.3	30,000	0.9	122.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	257,000,000株	2022年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	12,436,886株	2022年3月期	68,051,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	244,584,944株	2022年3月期3Q	249,047,384株

(注) 2023年3月期3Qの期末自己株式数には63,900株、2022年3月期の期末自己株式数には187,200株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2023年2月7日（火）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内自動車流通市場は、新車登録台数が緩やかに回復しているものの依然として半導体などの部品調達不足による生産遅延や納期の長期化が続いており、新車登録台数（軽自動車含む）は3,004千台（前年同期比0.5%減）となりました。

中古車登録台数（軽自動車含む）は、新車の減産による販売台数減の影響で、下取りにより発生する中古車が減少したことなどから、4,517千台（前年同期比5.5%減）となりました。（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

中古車輸出市場は、主にロシアやアラブ首長国連邦向けの台数が増加したことにより、輸出台数は970千台（前年同期比1.6%増）となりました。（財務省貿易統計調べ）

オートオークション市場における出品台数は5,170千台（前年同期比1.1%増）、成約台数は3,502千台（前年同期比0.2%増）、成約率は67.7%（前年同期実績68.4%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高64,408百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益31,833百万円（前年同期比4.5%増）、経常利益32,373百万円（前年同期比4.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益21,871百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「リサイクル」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載しており、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

オートオークション

オートオークションの出品台数は2,100千台（前年同期比5.1%増）、成約台数は1,364千台（前年同期比4.3%増）、成約率は64.9%（前年同期実績65.5%）となり、出品台数が増加したことなどにより増収増益となりました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高50,298百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益30,756百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、販売台数が増加したことや、前年同程度の台当たり粗利益を確保したことなどから増収増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、販売台数が増加したことや、前年同程度の台当たり粗利益を確保したことなどから増収増益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高7,640百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益223百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

リサイクル

資源リサイクル事業は、廃自動車の取扱台数が減少したことに加え、高値圏で推移していた金属スクラップ相場が、5月から軟調に推移したことなどから利幅が縮小し、減収減益となりました。

プラントリサイクル事業は、大規模な解体工事の受注件数が増加したことなどから、増収増益となりました。

この結果、リサイクルのセグメントは、外部顧客に対する売上高6,388百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益806百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は213,545百万円となり、前連結会計年度末と比較して15,808百万円減少しました。これは主に、オークション貸勘定が12,162百万円、現金及び預金が1,473百万円減少したことによるものです。

負債合計は27,835百万円となり、前連結会計年度末と比較して19,045百万円減少しました。これは主に、オークション借勘定が13,134百万円、未払法人税等が3,662百万円減少したことによるものです。

純資産合計は185,710百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,236百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を21,871百万円計上したこと、剰余金の配当を17,323百万円実施したことに加え、自己株式の取得により1,632百万円減少したことによるものです。

なお、自己株式の消却により、資本剰余金が9,946百万円、利益剰余金が44,391百万円、自己株式が54,337百万円それぞれ減少しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して4,073百万円減少し、71,406百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は17,837百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益32,380百万円（前年同期比1.0%減）、法人税等の支払額13,814百万円（前年同期比4.6%増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は5,322百万円となりました。これは主に、定期預金の純増加額2,600百万円（前年同期実績－百万円）、有形固定資産の取得による支出1,414百万円（前年同期比57.9%増）、投資有価証券の取得による支出1,001百万円（前年同期実績－百万円）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は16,589百万円となりました。これは主に、配当金の支払額17,323百万円（前年同期比21.8%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（2022年11月8日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,380	77,906
オークション貸勘定	14,572	2,410
受取手形、売掛金及び契約資産	2,425	2,551
有価証券	3,000	3,000
棚卸資産	1,206	1,342
その他	3,305	2,418
貸倒引当金	△18	△20
流動資産合計	103,872	89,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,426	32,076
土地	63,577	63,577
建設仮勘定	245	564
その他（純額）	3,130	2,664
有形固定資産合計	100,379	98,882
無形固定資産		
のれん	8,366	7,961
その他	6,209	5,858
無形固定資産合計	14,575	13,819
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,632	11,336
貸倒引当金	△106	△102
投資その他の資産合計	10,526	11,233
固定資産合計	125,481	123,936
資産合計	229,354	213,545

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	21,213	8,079
支払手形及び買掛金	698	596
短期借入金	186	740
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	7,578	3,916
引当金	782	440
その他	7,203	4,780
流動負債合計	37,884	18,773
固定負債		
長期借入金	2,356	2,017
引当金	—	38
退職給付に係る負債	872	955
資産除去債務	623	630
その他	5,142	5,419
固定負債合計	8,996	9,062
負債合計	46,880	27,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,915	8,992
利益剰余金	211,843	172,000
自己株式	△65,039	△12,078
株主資本合計	184,600	187,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	930	698
土地再評価差額金	△5,636	△5,636
退職給付に係る調整累計額	△14	△12
その他の包括利益累計額合計	△4,719	△4,950
新株予約権	457	457
非支配株主持分	2,136	2,409
純資産合計	182,473	185,710
負債純資産合計	229,354	213,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	59,623	64,408
売上原価	22,336	25,376
売上総利益	37,286	39,031
販売費及び一般管理費	6,824	7,198
営業利益	30,462	31,833
営業外収益		
受取利息	4	6
不動産賃貸料	559	524
雑収入	195	160
営業外収益合計	759	691
営業外費用		
支払利息	9	8
不動産賃貸原価	124	128
雑損失	7	14
営業外費用合計	141	150
経常利益	31,080	32,373
特別利益		
固定資産売却益	17	61
関係会社株式売却益	1,627	—
その他	—	3
特別利益合計	1,645	64
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	20	18
賃貸借契約解約損	—	26
災害による損失	—	12
その他	0	0
特別損失合計	20	57
税金等調整前四半期純利益	32,705	32,380
法人税等	9,724	10,090
四半期純利益	22,981	22,289
非支配株主に帰属する四半期純利益	763	418
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,218	21,871

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	22,981	22,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	423	△232
退職給付に係る調整額	2	1
その他の包括利益合計	425	△230
四半期包括利益	23,407	22,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,643	21,640
非支配株主に係る四半期包括利益	763	418

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,705	32,380
減価償却費及びその他の償却費	3,794	3,508
のれん償却額	404	404
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△355	△386
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	80	85
受取利息及び受取配当金	△17	△34
支払利息	9	8
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,627	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1	△42
オークション勘定の増減額	626	△971
売上債権の増減額 (△は増加)	175	△126
仕入債務の増減額 (△は減少)	△286	△102
未払金の増減額 (△は減少)	△213	△690
預り金の増減額 (△は減少)	△1,099	△1,226
その他	△459	△1,189
小計	33,724	31,615
利息及び配当金の受取額	37	46
利息の支払額	△10	△8
法人税等の支払額	△13,206	△13,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,544	17,837
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	△2,600
有形固定資産の取得による支出	△896	△1,414
有形固定資産の売却による収入	28	67
無形固定資産の取得による支出	△483	△331
投資有価証券の取得による支出	—	△1,001
関係会社株式の売却による収入	1,670	—
その他	△22	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	297	△5,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	301	553
長期借入金の返済による支出	△332	△338
預り保証金の預りによる収入	134	164
預り保証金の返還による支出	△101	△107
自己株式の取得による支出	△3,886	△1,632
自己株式の売却による収入	242	251
自己株式取得のための金銭の信託の増減額 (△は増加)	△3,113	2,026
配当金の支払額	△14,218	△17,323
非支配株主への配当金の支払額	△60	△111
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△23	△37
その他	—	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,057	△16,589
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△215	△4,073
現金及び現金同等物の期首残高	64,870	75,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,654	71,406

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月8日開催の取締役会決議に基づき、2022年4月1日から2022年5月31日までに、自己株式775,700株を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,632百万円増加しております。

また、2022年5月31日開催の取締役会決議に基づき、2022年6月30日付けで、自己株式56,250,000株を消却いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が9,946百万円、利益剰余金が44,391百万円、自己株式が54,337百万円それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が8,992百万円、利益剰余金が172,000百万円、自己株式が12,078百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動車 等買取販売	リサイクル	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	47,593	6,543	5,420	59,557	65	59,623	—	59,623
セグメント間 の内部売上高 または振替高	240	0	2	242	—	242	△242	—
計	47,833	6,543	5,423	59,800	65	59,865	△242	59,623
セグメント利益	29,346	161	894	30,402	45	30,447	14	30,462

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システムによる売電事業等であります。

2. セグメント利益の調整額14百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動車 等買取販売	リサイクル	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	50,298	7,640	6,388	64,327	80	64,408	—	64,408
セグメント間 の内部売上高 または振替高	195	—	2	197	—	197	△197	—
計	50,494	7,640	6,390	64,525	80	64,605	△197	64,408
セグメント利益	30,756	223	806	31,786	35	31,821	11	31,833

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システムによる売電事業等であります。

2. セグメント利益の調整額11百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「リサイクル」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	596	644	8.0	855
営業利益	304	318	4.5	434
経常利益	310	323	4.2	441
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	222	218	△1.6	300

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	111	117	5.7	157
成約手数料	110	114	3.4	156
落札手数料	169	175	3.7	238
バイクオークション手数料	6	7	12.2	9
商品売上高	10	18	80.5	19
その他の営業収入	67	69	2.1	93
オートオークション計	475	502	5.7	675
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	36	43	19.5	55
事故現状車買取販売	28	32	13.2	45
中古自動車等買取販売計	65	76	16.8	100
《リサイクル》				
資源リサイクル	40	38	△4.0	50
プラントリサイクル	14	25	79.3	27
リサイクル計	54	63	17.8	78
《その他》				
その他	0	0	22.1	0
その他計	0	0	22.1	0
合計	596	644	8.0	855

- (注) 1. 顧客との契約から生じる収益およびそれ以外の収益を区分して記載しておりません。
2. バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。
3. 第2四半期連結会計期間から報告セグメントの区分を変更しており、前第3四半期連結累計期間は変更後の区分で記載しております。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	13	17	26.6	60
完工ベース	10	12	25.1	61
減価償却費	36	34	△7.8	47